

危機管理ニュース第4号

1 食料の備蓄

電気が使えないことを想定し、電気が無くても食事を作るための備蓄をしておきましょう。

カセットコンロがあるとお湯が作れるため、インスタント食品やレトルト食品の備蓄が有効です。

【具体的に用意するもの】

- ・カセットコンロ、カセットボンベ
- ・カップ麺やアルファ化米などのインスタント食品
- ・缶詰類
- ・レトルトのごはんやおかず
- ・買い置きしておいたパン
- ・飯ごう等の炊飯器具

市では、市民の皆様に**7日間分**の備蓄を薦めています。

2 明かりの備蓄

夜中に電気が使えないと慣れた部屋の中でも歩くのが困難です。ランタンや懐中電灯を備えておきましょう。懐中電灯は下図のようにすると、より周囲を照らせます。

【具体的に用意するもの】

- ・懐中電灯
- ・ランタン
- ・予備の電池



<ペットボトルランタン>



立てた懐中電灯の上にペットボトルを乗せるとランタンのように周囲を照らせます！

3 電気の備蓄

特に携帯電話は連絡を取り合うにも、情報を収集するにも非常に便利なものです。充電用のバッテリーなどを日頃から備えておきましょう。

また、ノートパソコンなどバッテリーを内蔵している電化製品を常に充電しておく、携帯電話の充電や明かりにも使えますのでとても便利です。

【具体的に用意するもの】

- ・モバイルバッテリー(携帯電話用、普段から充電しておけるタイプのもの)
- ・古い携帯電話(充電しておくといざというとき、ライト代わりになります)
- ・車のガソリン(満タンにしておけば、充電や空調、ラジオにも使えます)

4 水の備蓄

屋上に水槽が設置してあるマンション・アパートなどの建物や高台では、電動のポンプで水をくみ上げているため、停電のときに断水してしまいます。

地震災害のための備蓄と併せ、今回の停電で断水を経験されたご家庭では特に、生活用水の備蓄を進めましょう。

【具体的に用意するもの】

- ・お風呂に水を貯めておけば、バケツに汲んでトイレを流すための水などに使えます。
- ・飲料水などの備蓄は1人1日3リットルを目安に備蓄しましょう。

5 その他の備蓄

そのほか、あると便利なものを紹介します。

台風など予測できる災害の前には必要なものを買い足しておくとい良いでしょう。

【具体的に用意するもの】

- ・汗拭きシート(からだを清潔に保てます)
- ・保冷材・氷
- ・うちわ(夏場に便利です)
- ・簡易トイレ
- ・電池式ラジオ(停電時にも情報収集出来ます)
- ・使い捨てカイロ
- ・クーラーボックス



©菊川市

【平成30年危機管理ニュース 第4号】

作成 菊川市役所 危機管理課 0537-35-0923

おもて面

台風24号の教訓

1 台風24号がもたらした影響…

平成30年9月30日の夜遅くに静岡県に接近した台風24号により、市内全域で暴風雨となり、道路や建物にも被害を受けました。また、非常に強い風の影響から、市内全域で停電が発生しました。10月4日の22時頃に市内の停電が解消しましたが、地域によっては最大4日間、停電したままの状態が続きました。

2 停電がこんなに不便だなんて…

こんな10月1日を過ごした方がいるのでは？

朝起きたらセットしておいたごはんが炊けていない…テレビがつかず、トースターや電子レンジも使えない…給湯器も止まっているのでお湯が使えずシャワーも浴びれず…月曜日なので会社に出掛けてなんとか一日を終え、帰宅してみたものの停電がまだ続いている…

夕飯の材料を買いに近くのスーパーに行ってみるが、停電で閉まっていた。仕方ないので普段は利用しない少し遠くの開いているスーパーへ行って見たが品切れのものが多く、ある物をとりあえず買って帰ろうとしたところ、暗くなってきた。信号も街灯も点いていないため、おそろおそろ車を運転しながら帰った。家の明かりは懐中電灯くらいしかなく、携帯電話も電池が少なくなってきた…お風呂は冷たい水のため、頭だけ洗い、体を水で濡らしたタオルで拭いたところで、何と水も止まってしまった…。普段ならテレビを見て、遅くなったら寝るところがそれも出来ないので明日の朝には復旧しているだろうと考えながら眠ると、翌朝も停電と断水が続いていた…

かつてない不便を体験…

3 もし停電の備えをしていたら…

こんな10月1日を過ごしていたかも…

朝起きたらどうやら台風の影響で停電になっている様子。停電するかも…と想定していたので、昨日の夜のうちに朝食の準備は済ませておいた。もしかしたら停電がしばらく続くかもしれない。朝食を終えて出勤し、仕事を終え家に帰るとやはり停電がまだ続いている。

電気が使えない時のために買っておいた保存食と冷蔵庫からクーラーボックスに移しておいた食品で夕食を摂る。そのうち外は真っ暗に。ランタンで部屋の明かりを確保し、台風でどのくらい影響が出ているかをラジオや携帯電話で情報収集する。携帯電話の充電なら携帯充電器や車のシガーソケット用充電器があるため安心だ。お風呂は冷たい水のため、カセットコンロでお湯を沸かして頭だけ洗い、体は汗拭きシートで清潔にした。断水は続いているけれど、生活用水は風呂に貯めてた水があるし、飲み水や料理に使う水はペットボトルの備蓄があるので、もうしばらくは何とかかな。ランタンの明かりで普段と違う雰囲気の間際に家族が集まり、いつまで停電が続くのかといった話題と、災害への備えについて話し合い、いつもより早めに就寝した。

備えあれば憂いなし！



©菊川市

おもて面で具体的な停電の備えについてご紹介していますので、この機会にぜひ取り組んでみませんか？

うら面